

日時：令和6年12月10日（火）

15：00～16：30

方法：オンライン

1 開会 保健所長挨拶

2 議事

（1） 備前保健所運営の概要

各課から資料1により説明

＜質疑応答・意見交換＞

【会長】

地域住民の安全・安心を守るために大変広範囲な業務を活動していただいていることがよくわかりました。母子保健対策やこころの健康づくり対策等のソフト面での保健所の活動は、知らない人も多いと思われるので広めていただきたいと思います。また、一番驚いたのは大麻の蔓延です。以前から覚醒剤等薬物乱用防止対策についての啓発運動やキャンペーンに参加する中で中高年の再犯事例が多いと聞いていましたが、覚醒剤の入り口である大麻が10代20代で蔓延してきていることは、非常に憂慮すべき事態であると思います。そういう人が次第にエスカレートして次の強い覚醒剤等へ移行してしまう可能性があり、それらの最初の頃からの防止対策をさらに広めていただきたいと思います。

そのほか、ご質問やご意見が無いようでしたら、委員の皆様から一言ずつお話をお聞かせいただければと思います。

【委員】

災害対応時の食事提供マニュアルを作成する際に、保健所の栄養士の方にもアドバイスいただきました。また、衛生課の職員に立入検査に入っていただいたこともあります。そのほか、製造許可等で相談することがあり、それぞれの地区担当で調整をいただき非常に助かったとの話も聞いており、お世話になっています。

【委員】

保健所長及び県の職員の指導のもと、栄養350グラムの野菜をしっかりと食べようという活動等に協力いただき、食からの健康面の取組を行っています。今後も一緒に、医療関係の方々とも連携を図り、健康面での取組を行いたいのでよろしくお願いします。

【委員】

地域の健康支援の活動をしています保健課から様々な助言と研修会を実施いただいています。食育が大事との認識はしていますが、栄養委員の担い手が、高齢化や子育て世帯の方に

参加いただきたいが忙しく難しい面もあって減少してきているのが、今一番難しい問題と認識しています。また、ご助言等いただけたらありがたいです。

【委員】

健康づくりボランティアとして、運動面での赤磐市の取組になりますが、100歳体操を実施しており、約1000人の方に参加いただいています。また、健康づくりボランティアの活動以外にも、認知症支援や災害ボランティアとして活動を行い、保健師の協力を得て、サロンやさんさんカフェ、災害訓練など、地域に根差した活動をしています。

【委員】

赤ちゃん訪問を行い、妊娠中のお母さんや産後のお母さんの手助けになればとの気持ちで地域のお母さんとしての役目を果たしています。また、各中学校で赤ちゃん触れ合い体験として、妊娠や出産に対する知識とか命の大切さについて、お母さんと赤ちゃんとの触れ合いを通じて子どもたちに正しく理解してもらうための研修をしています。産後うつでは、少しでもお母さん方の話を聞いて役に立てられたらと思いながら、様々な活動を行っています。

【委員】

体の健康づくりとして、地域でボランティア活動、中学生と取り組む清掃活動をしています。また、労働組合主体で、地域での健康づくりや労働者のこころと体の健康づくりのために、家族触れ合いメーデーを設けるなど、地域の皆様と一緒に活動を行っています。今後もこうした活動を続けていきます。

【委員】

地域の見守り活動や相談等を受けていますが、先日、愛育委員さんと一緒に研修を行った際に、備前保健所から、ゲートキーパーや自殺対策等について色々と話を聞かせていただきました。その中で、相談を受ける側の心も健康でなければ相談を受けるのは難しいと知ることができ、今後、気をつけて相談を受けたいと思いました。引き続き、よろしくお願いします。

【委員】

保健所には、インフルエンザの臨時休校の際にお世話になっていましたが、この度の説明で普段からの様々な予防活動を知りました。驚いたのが、大麻の使用の70パーセントは30歳未満であり、小学生からの薬物乱用防止教室等の必要性を感じました。今後、学校薬剤師とも連携していきたいと思います。

【委員】

体の健康づくりとして岡山市のフレイル対策事業の依頼があり、月に1件程度ずつ、地域に出向いてフレイルチェックを実施し、健康相談や高齢者の体力面について一緒に取り組んでいます。そのほか、日頃のまちの保健室で市民との触れ合いの場でも関わりを持たせていただいています。また、看護協会では、出前講座を開催し、認定看護師等による講演も行っ

います。

【委員】

現時点の県下の保健所の薬物乱用防止対策への対応については、県下の薬剤師会で定期的に啓発ポスターの掲示をし、イベント時には冊子もお配りしています。ただ、医療機関では高齢者の受診が多く、子どもの受診は小児科を除くとほとんどないので、小さい時から色々教育していく必要があると思っています。今後、チーム内でも積極的に議題に取り上げて、検討していきたいと思っています。

【委員】

母子歯科保健や歯周歯科検診でお世話になっています。また、国民皆歯科検診の準備段階で、全ての国民に歯科の検診を受けてもらうために色々取り組んでいます。そのほか、PFASのような体に影響のあるものとして添加物が最近気になりますが、これに関しては保健所の業務はあまり関係ないのでしょうか。

【事務局】

保健所では、食品の添加物が正しく表示されているかを食品検査や工場への立入時に確認していますが、添加物の安全性については国の食品安全委員会等で毒性評価等を行っており、保健所は、その基準に合うものが市場に流通していることを確認しています。

【委員】

玉野市の歯科健診、保健衛生に関して、毎年、妊産婦健診と歯周病検診を行っていましたが、今後、特に65歳以上の方の受診の向上を目指して、市健康増進課と協議の上内容を改良して進める予定です。口の中の健康である、オーラルフレイルとして、市内の多職種連携の協議会でも啓発していく予定です。

【委員】

昨年のこの時期に、吉備中央町のPFASのことが発表され、住民の皆様が大変心配されるのではと思いましたが、町と大学が主体で取り組みを進めており、そのことでは安心していきます。ただ、病院では、血液検査の結果が出た時に、その検査結果を持って相談に来院された場合、対応は決まったものがないと病院内部で話をしていますので、また、ご指導よろしくをお願いします。

【委員】

精神科も色々変わってきた実感があります。特に、精神科救急では、以前は統合失調症がかなりの割合を占め、それに伴い様々な問題の救急搬送が多かったようですが、近年、高齢化の影響が精神科救急にもある気がします。特に、老人施設でのせん妄状態等、不穏状態、認知症関係として施設での対応が難しく、精神科救急への依頼も増えてきたと思います。精神科に限らないかもしれませんが、病院のゆとりがなくなり、医療経済的に厳しいことも実感しています。また、医師の働き方改革で時間の制限があり、働く人の減少も感じています。

岡山市内でも、単独の高齢者世帯が多く、高齢者を地域に繋げていくことも病院の課題とも思います。ただ、個々の病院の力は限度があり、保健所や行政と連携し、今日出席いただいた皆様とも連携を密にして、地域の広がりやゆとりを作っていければと思います。

【委員】

精神保健福祉に関して、精神障害により自傷他害の恐れのある人を保護した時の通報等でお世話になっており、今後も連携いただきたいと思います。件数的には多くはないですが、非常にスムーズに事案に対応でき感謝申し上げます。通報等での円滑な対応はもちろんですが、先ほどのご説明のとおり事前に兆候が見られた時等に、早めに相談させていただくことや情報共有することで対応できるケースも増えればいいと思っており、引き続き、よろしくお願いします。

【委員】

救急の関係で 感染症対策では保健所との連携が大事と考えているので、協力いただきますようお願いします。

【委員】

保健所には、地域保健・健康増進事業など、多くの事業に支援いただいています。保健師、栄養士に対して細かく助言指導をいただき、特に、こころの健康づくりでは、相談の場の開催や緊急対応等でも今後ともよろしくお願いします。

【会長】

ありがとうございました。委員の皆様方からいただきました意見を踏まえながら、保健所としては、引き続き、地域の関係者の皆様と連携して業務を進めていただきますようお願いします。

(2) その他

事務局から、来年度以降の開催方法について提案

○改選1年目

オンラインを主体とした会場参加も可能とするハイブリッド開催で実施する。

○改選2年目

改選1年目と同様に事業報告を行う場合は書面開催により各委員へ事業報告を行う。

委員の皆様から要望や、新たに協議すべき事項がある場合は、改選1年目と同様にオンラインを主体とした形式で開催する。

【会長】

事務局からこうした提案がなされましたが、この案にご意見のある方はおられますか。よろしいでしょうか。それでは、次年度以降はひとまずこのような方法で進めさせていただくということで了承されたとします。